

各 位

志乃武神社に鳥居を奉納するための募金に関する趣意書

謹啓

皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、航空自衛隊三沢基地ゆかりの「志乃武神社」を末永くお守りするために「志乃武神社を守る会」（通称、「守る会」）を設立致しました。

「守る会」は、志乃武神社を崇敬し、戦没者・殉職者の慰霊及び航空自衛隊三沢基地の安全祈願等を主たる目的とし活動して参ります。

志乃武神社は、三沢海軍航空隊の守護神として昭和 18 年に三沢海軍航空隊基地内に建設されましたが、終戦に際して昭和 20 年 9 月 7 日に木ノ下の気比神社に納められ（現、おいらせ町木ノ下）、現在も同敷地内に祭祀されています。

社殿の脇には由緒を記した看板が設置されており、「航空自衛隊三沢基地の安全を願う」趣旨が明記されています。

守る会では、この志乃武神社に対し、崇敬の念を表するとともに神恩感謝の赤誠を捧げることを目的とし、社殿の入り口に鳥居を奉納することを計画しております。

つきましては、三沢海軍航空隊関係者、航空自衛隊関係者、三沢基地協力団体の皆様及び三沢基地周辺の地域の皆様等、広くご賛同頂ける方々からの募金について、別紙の要領にてご協力頂きたくお願い申し上げます。

神社崇敬という趣旨から、なるべく多くの方々のご賛同を得られますことを期待申し上げます。

謹白

平成 29 年 6 月 24 日
志乃武神社を守る会
会長 月館八郎

志乃武神社への鳥居奉納募金者名簿

	御芳名	ご住所	電話番号	金額
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				